

# ぶどうの木

2009年12月  
第89号  
聖アウグスチノ  
カトリック葛西教会

東京都江戸川区中葛西1-10-15  
03-3689-0014

## マリア、恐れることはない

主任司祭 トマス小崎 柴田 弘之

子どもの頃からスポーツが好きで、小学校六年生で始めたバスケットボールは中学、高校に進んでも続けていました。高校一年のときは先輩たちから厳しい指導を受ける日々でしたが、それでも仲間とプレイできることが楽しく、歯を食いしばってついていく毎日でした。高校二年になったとき、一年生として入ってきた後輩たちのなかに優秀な選手たちがいました。足も速くて無駄な動きが少なく、シュートも正確で、自分たち以上にバスケットを楽しんでいるのがわかりました。やがて公式戦には彼ら後輩たちの出番が多くなり、二年生がベンチにいるという試合が増えてきました。やる気を失い、練習や試合を休む仲間も出てくる始末です。一年生のときに無心にプレイしていた頃が懐かしく、今の自分たちが情けなく思えてきます。そんなある日、監督はキャプテンを務めていた私を呼んで死んでしまっている。」

あのときの監督の言葉の意味がわかるまで

に何年もかかりました。ひとことと言ってしまうえば、自分の中にある見栄、傲慢さといった未熟な側面があたりだされたのだと思います。その根にあるのは「恐れ」でした。他人の目、人から受ける

(多くは自分で作り出した架空の)期待に応えて面目を保たなければという焦りで身動きがとれなくなってしまう自分がいました。「自分自身を謙虚に見つめて、ゼロからスタートしたい」スポーツ選手がテレビのインタビューなどでよく口にする言葉ですが、この謙虚さこそが恐れを打ち砕いて前進していくカギではないかと思えます。そして謙虚な心とは、人間としての未熟さゆえに突き当たる挫折経験を通して生み出された、とても高価な宝石のようなものです。

「あなたの足音が園の中に聞こえたので、恐ろしくなり、隠れております。わたしは裸ですから」(創世記三章)。主なる神が食べてはならないと命じた木の実を食べてしまった後にアダムが語る言葉です。神に背いた人間は、裸の自分(愛されるに値する、ありのままの自分)を神に対して、そして人に対して、隠さなければならなくなってしまう。「恐れ」がそうさせるのです。恐れは人が本来持っている良いものをさえ台無しにしてしまうのです。なぜこのような事態になってしまったのでしょうか。神に背かせようと人間をいざなう蛇の誘導はとても狡猾です。それは「神

を亡き者にして、あなたが神になることができるのだ」という誘いなのです。善悪の知識を我がものにする(同三章)、天まで届く塔を建てること(同十一章)、これらは人間が神の座に自分を置こうとする欲望を表しており、ここに罪の根源があります。そして罪は死しかもたらさないのです(ローマ六章二十三節)。

救い主キリストの到来によって、またその受難、死、復活によって、神は罪と死の支配から私たちを解放してくださいました。「恐れることはない」とマリア様に呼びかけた天使ガブリエルの力強い言葉は、私たちに対するはげましの言葉でもあります。蛇の誘いの声に飲み込まれないよう目覚めていながら、日々神様を賛美し、キリストと出会わせていただいた喜びをかみしめつつ歩みを続けましょう。恐れが徐々に取り去られ、裸の自分を神様に差し出すことのできる日がやってくることを待ち望みながら。

### 助任司祭 ジェス神父

レジオマリエ会員の皆様、1000回集会を達成いたしましたので、おめでとうございませう。1000回集会まで達成することができたので、それは神様から頂いた豊かな恵みではないでしょうか。レジオマリエ会員の皆さんが喜びを持って神様と他人のために働くことは本当に素晴らしいことです。真にありがとうございます。どうぞ皆さん何とか回集会までレジオマリエ会の仕事を熱心に果たして続けるように、また会員が増えますように祈りましょう。

## 待降節黙想会

マリア・モニカ 金城千里

十一月二十九日(日)待降節に戸塚教会主任司祭アルフレッド・バーク神父様の黙想会がありました。

「待降節とは」から始まりました。待つ。降りてくる。希望がある。と!

「再臨」イエス様が降りてくることを考える。それは私たち人間には、何時になるか分らないことだけれど。台風が来て、雨が降り、雨が上がった後、空気が洗われて綺麗になる。富士山が綺麗に見えてくる。その様に苦しみがあつて後に幸せがある。目を覚まして祈りなさい。待降節は祈りです。

「十人のおとめ」のたとえの中から、だから目を覚ましていなさい。あなたがたは、その日その時を知らないのだから。待つことの大切さを語られた。そして聖書を読み聖書の中で祈ることの大切さを話された。又洗礼者



ヨハネの両親、ザカリヤとエリザベトの熱心な祈りの中で誕生を待つ、お話などもありました。

これらの話を通して、「祈りながら待ち」クリスマスを迎える準備をしていく期間が待降節であるとのことだったと思います。

講話のあと、ミサが始まりました。四人の神父様の入堂があり、祭壇に立たれた神父様たちの祭服に掛けられた紫(待っているの意)のストラがパット目に入ってきました。今までにない感動です。今日からクリスマスを迎える準備に入るのだと言う意識を改めて自分の心に刻むことができました。慌しい暮らしの中にあつて、短い時間でありながら、黙想会に参加でき、そのあと、ミサに与る恵みに感謝した一日でした。



## 心の準備も大切

助任司祭 ジェスス神父

教会で典礼暦年の新しい一年が始まったばかりであり、待降節の間クリスマスのためには供えて準備しながら、私たちは何か気にすることはしないでしようか。聖性の生活を得ようと努力しながら、心の中の邪魔な物を取り除かなければならないと思いませんか。おしま

れになったイエス様は、偉いお客様だから、彼と出会いたいならば、悔い改める心が必要だと気にすることでしょうか。

フィリピンは、キリスト教の国だから、クリスマス気分が九月から感じられるようになりますが、クリスマスの日が来る前に信者さんたちは、日本の信者と同じように、楽しいクリスマスのために色々な準備を良く考えます。例えば、家や店や事務所をイルミネーションで飾り、クリスマス歌を流し、音楽会やクリスマスパーティーなどの集まりを行い、プレゼントを買い、プレゼントをあげ、忘年会みたいな家族と親戚と友達と一緒に食べたり、踊ったり、歌を歌います。

しかし、フィリピンの信者さんたちは楽しいクリスマスのためばかりではなく、特に宗教的にクリスマスに関係のある霊的な活動も味わいます。幸せなクリスマスを感じられるように、教会の奉仕グループはスラム街や病院や刑務所などに行つて、貧しいや病气や囚人や災害に見舞われた人たちを見舞い、クリスマスキャロルを歌え、神様のことを教え、見舞い品をあげます。そして、信者さんたちはクリスマスまで、九日間の夜明けのごミサに参加する習慣があります。クリスマスの日に来るお客様のために家をきれいにし、料理を作りながら、心にイエス様がお生まれになるように教会で行われる黙想と赦しの秘跡にあずかるためにも過ごす日を取って置きます。私たちは、残り時間があり、クリスマスの日まで、楽しみにして皆で待ちながら、楽しく幸せなクリスマスを味わうためにそのような色々な準備をして忙しいのです。

# レジオ1000回達成記念特集

## レジオ1000回記念

おめでとうございます

主任司祭 トマス小崎柴田弘之

この度、二十五年近い歳月をかけて千回目のプレシデイウムを迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。「聖なる教会におけるイエスの母マリアの役割」に共に参与するために、毎週集まって祈り奉仕する会員の方々が、豊かな祝福と霊的な富でますます満たされますようにお祈り致します。



上の写真は800回記念集会

## 脇谷会長さんと

慰めの聖母マリアレジオ会員の皆様

トマス・パーセル O・S・A

600回の集会に向かっている皆さん、おめでとうございます。

十六年間の霊的活動は聖母マリアの前にすばらしい記録とささげものになるでしょう。長い間、病人の慰めと色んな教会の神父様のお手伝いをなさったことは私も喜んでおります。小さい頃から集まって、まじめで今新しい会員が入ったり活動を続けるのは、あなた方の祈りと信仰によっていつまでも続くようにお祈り致します。

いつもレジオはいろんな会の中で、意味のある活動をなさいますので、いつも応援したいのです。

今、私は城山教会の昼の十七名の婦人のレジオをやっていますので、お蔭様でみんな張り切っています。

近いうちに皆さまにお会いしたいですね。もし機会がありましたら長崎にいらしてください。指導司祭にもよろしく。

イエズス様の祝福とともに。

1996年十一月七日

(十三年前のパーセル神父様からのお手紙です。まるで遺言のような励ましの言葉に、今まで支えられて続けてこられたことを今更のように思い起こし感謝、感謝です。パーセル神父様、これからも天国から見守ってくださいますように！)

## 葛西教会レジオ会員のみなさんへ

港教会 山口正美

集会記念1000回おめでとうございます。力は継続なりですね。

昼と夜のレジオの集会で一つだけ思い出すことがあります。昼のレジオの皆さんはいつも暖心苑にボランチアをしておられたと思います。初めて間もないころ、暖心苑の計らいで、江戸川区役所の方から、そのボランチア活動について感謝状が送られることになり、レジオマリアとはどんな団体か問い合わせがありました。私は「マリア様の軍団」ですと答えると区役所の方は、え？「軍団」ですか？といわれ、「あの鉄砲とか大砲とかお持ちですか」と言われてひと笑いした覚えがあります。

また夜のレジオの時は、ある夏、東京に台風がきていて、雨、風が強く、今日はレジオは休みでしょうと思ってゆっくりしていると宗君や、高梨君たちが教会に雨の中に来て、レジオをやった覚えがあります。「風にもまげず…」だったのを今でも覚えています。

1000回は毎週の会会員の積みかさねです。まして天国には多くの宝が積み重ねてあるとおもいます。マリア様により頼んで1日も長くレジオが続きますようにお祈りしております。



## 祈り続けてさらに祈ろう

レジオオマリエ1000回集会によせて

フランシスコ 脇谷 善之

「レジオオマリエ」という信徒使徒職のグループがある。1921年アイルランドのダブリンで創設され、日本へは1948年長崎の高島教会に設立された。葛西教会には二つのグループがあり、いずれも生みの親はパウル神父様である。一つは松江教会時代の1982年に「慰めの聖母マリア」が、1986年には「善き勧めの御母」が設立された。

もういつの間にか27年、23年の時間が流れた。毎週一回の集会で今年二つのプレシディオウムが1000回目の記念すべき集会を持つことが出来た。松江時代に出来た「レジオオマリエ」は、仕事をもっている人のための夜の集会で、八時から約一時間位で次のような流れである。もう一つは昼間の集会で、全く同じように集会がもたれる。

開会の祈り

口ザリオ

霊的読書

仕事の報告

アロクチオ (指導司祭の訓話)

討議 (雑談)

終了の祈り

口ザリオを1000環マリア様にお届けしたことになる。バラの冠はお悦びになられたであろうか。レジオオマリエに入っていないければ、信心のおぼつかない私はきつとできなかつたであろうと思う。続けることの大切さ、それによって育まれた会員との絆や、自然な信心を今更のように有難く思う。簡単な奉仕と祈りの両立は、バランスのよい信心行(古い言葉!)であり、レジオオマリエはそれを自

然に備えている。会長だった山田さんは、夜のグループで二つもバスを乗り継いで欠かさず出席された。パーセル神父様が「ちゃん」とバス停までお送りしなさい」とのこと。高梨さんと毎回護衛したことも懐かしい思い出である。

山口神父様は東京全体のレジオの第十代指導司祭になられて、クジラ号といわれていたオンボロのワゴン車で、二つのグループの会員が月一回の集会に参加していたことも、あの頃は若かったなと感慨深い。

こんなこともあった、台風で風雨の強いレジオの夜、なにをするものぞと全員が揃ったのだ。山口神父様の驚きようと喜びように、会員のほうが驚いたものだった。その時の「あなたたちは間違いない天国へ行けますよ」と励まされたことは、ついこの間のように思い出される。後は割愛。

今会員は三名。勿体ない!!。どうぞ水曜日の夜、暇でしたら覗きにきてください。入会金無料、天国行き切符のオマケつきです。

「テッセラ」といわれる

レジオの祈りの表紙



## マリア様が好き、ロザリオが好き

マリア 柴田 悦子

昼のレジオが、夏に1000回集会をお祝いすることができました。

思い起こせば、私とレジオは京都で会員になって現在までいつしか三十年のお付き合いです。葛西教会ではパーセル神父さまよりお誘いいただき入会しました。それ以来ずっと香部屋のごミサ用の白布を洗っていました。これまで続けてこられたのは、素朴に「マリア様が好き」と言うことだと思います。

要理のお勉強の時、「ロザリオには大切なことが全て含まれていますよ」とシスターより教わり、ロザリオが好きになったことも、こつこつとレジオを続けてこられたご褒美のようにも思います。

今はクリスマスのカンドルサービスの準備をレジオ会員と楽しくしています。どんな小さなことも、教会への奉仕がお役にたつことは嬉しいことです。体が動く間は、マリア様の手足になつて「祈りと奉仕」のレジオ会員であり続けたいと思っております。

「恵みあふれる聖マリア、主はあなたとおられます」 神に感謝

## レジオに若い力を

マルタ 畑野 文子

昔、レジオに入るようにとすすめられた。レジオの内容について、週一回の会合があり口ザリオをお祈りすること、そして神父様からお仕事をいただき奉仕することだった。そのお仕事は病気とか色々の理由で教会に来られなくなった信者さんの訪問などが主な仕事とのこと、それなら実行できるのでと思い参加した。

少しはレジオについての知識も必要と、「レジオマリエ提要」の抜粋を読んだところ、始めは大変な集会に入ってしまったと思っただけけれど、今日まで会員の皆さんとの集まりが楽しくて、今日まで何とか続けてくることが出来た。

しかしながら、私の方こそ歳をとり（米寿を超えました）、時には「手助けが欲しいな！」と思うこともあるようになって、「人助け」どころではなくなってきた。

毎回祈りの度に、「どうぞ若い力の方々の入会がありますように」と祈っております。しかし、まだ祈りが届きません。もともとと信者の皆さんに、「レジオ」のことを知ってもらうことが大切かと思う昨今です。皆さんもいかがですか。よろしくお願いいたします。

## レジオ会員になって

### 二十三年を振り返り一言

マリア・ジエンマ 新妻江く子

設立者・パーセル神父様によって活動を開始しました、当時は十五名位会員もおり、とても賑やかでした。

神父様自ら車で病人訪問をなさり、私たちはそれに同行するばかり何をしたら良いのか判らない状態での出発でした、神父様は唯病人を訪問するばかりでなく、帰りは近郊の名所に立ち寄って詳しく謂れなど説明をしてくださいます。其の詳しさには日本人である私たちは驚くばかりでした。ちよとの暇を見つけて修道院や教会訪問と黙想会など多くのことを教えてくださいました。パーセル神父様が長崎にお帰りなつてからも幾度か神父様がお変わりになりましたが、みな、神父様たちの

ご指導とご協力によって続いております。

現在も特別変わった仕事もできない私たちがですしかし、レジオの精神は少しずつですが培われて居るのではないかと思っています。今新しい会員の入会もなく小人数での会ですが手足の動く限り祈りと活動を続けて行きたいと思ひます。

このレジオを絶やさないためにも皆様の入会をお待ちいたしております。

## レジオマリエの思い

ヨナタン 高梨緊二

「慰めの聖母マリア」は一九八二年七月に旧松江教会でパーセル神父さまが呼びかけられ、山田ヤイさん、山本英子さん、宗新光さんと高梨の四名が集まり始まりすぐに齊藤典子さんと宗幸信さんの二名が加わりました。しかし心配なことが有りましたそれは全員が働いていましたので夜の八時からの集会とはいえ、毎週集まれるだろうかと思ひました。心配無用でした仕事のやりくりなど少しの努力で解消しました。

小さな部屋でのマリア様を囲んでロザリオの祈り、各自の役割の報告、パーセル神父さんのアロクチオ（短い訓話）はいつも熱くマリア様の事を話されていきました。そして終了の祈りと祝福を受け一時間半くらいの集会は瞬間に過ぎました。

それから二十数年の間、山口神父様、ヒルデン神父様、遠山神父様、マホニー神父様にご指導なりました。会員の移動、指導司祭の交代を経ながら1000回集会を迎え、数冊のノートに書かれた集会記録は私たちの宝物です。ご指導いただいた神父さんたちに感謝。

そして今も人数は減りましたが、柴田神父様のご指導を仰ぎ集会をしています。

千回記念として、ささやかな会食の席を設けました十一月二十七日はちょうど五年前パーセル神父さんの天国への移住の日でした。

## レジオ・マリエ

### 1000回目を迎えて思う

ヨセフ 日高輝郎

夜の部レジオ・マリエ（慰めの聖母マリア）1000回記念おめでとうございます。1000回に達するまでに二十数年かかっていることと思ひます。私がレジオ・マリエに参加するようになったのは2000年の7月頃かと思ひます。最初はレジオ・マリエの意味もわからず皆さんに導かれるままに何とはなしに今日まで参加して参りましたが、私が日本を離れる前までに1000回を迎えることができたのは私の人生記録の一頁として非常に意義あるものと思ひますし、この会に参加できたことに感謝しております。

現在、夜の部レジオ・マリエは正会員3人です。私が抜けると2人になり今後の継続が困難になります。興味のある方はレジオ・マリエ存続のためにも是非ご参加をお願い致します。また今後1500回、2000回と続くことを祈念いたします。



## レジオ・マリエ(慰めの聖母)と私

マリア・エリザベート 草野美智子

毎年、十一月二十三日、葛西教会の物故者追悼ミサに参加させていただき有難うございます。今年も、亡き方々に招かれて、心のふるさと葛西教会へ伺いお世話になりました。柴田神父様はじめ、変わらぬ皆様のおもてなしを受けて、なんだかとても嬉しい一日でした。

遠いその昔、受洗当時から私は、なぜかマリア様に心惹かれておりました。

松江教会から葛西教会へと引越しの頃、代替で、命じられた教会の役目を果たし、その後、役目を退いてから、ぽっかりと開いた心の穴に逡巡している時、初代会長の山田ヤイ様からレジオ・マリエへの入会のお誘いを受けました。

大好きなロザリオの祈りを中心にした信心であることを知り、心もとなく思いながらも、毎週水曜日、夜八時から始まるレジオ・マリ



エの集会に参加することを決意いたしました。ご指導はパーセル神父様でした。雨の日、風の日、寒い日、へこたれそうになる自分も多少なりとも叱咤激励できたのは、何と通の不便さを

乗り越えて、どんな時も休会のなかった山田さんのお手本があったからでした。そして、いつも温かく迎えてくださったパーセル神父様のユーモアあふれるお言葉や、仲間の皆様の祈りに支えられてのことでした。祈り続けることで力を与えられ、信仰が培われることを悟らせていただきました。私の中の小さな神殿の支柱は、この時に出来たのかな?と思っています。

この間、思いがけない脊椎骨折により長期の休会を余儀なくされましたが、快癒の暁には、再度、暖かく迎え入れていただき、レジオ最終後の夜道を案じて、いつも見送ってくださった優しいお仲間のご好意を決して忘れることはありません。

パーセル神父様から、マホニー神父様へと代替わりした後、しばらく経って、永住を決めていた西葛西から、大田区へと転居することになりました。

葛西教会ともお別れし、残念ながらレジオとも縁が切れてしまいました。

レジオの祈りと活動は今に至るまで続いていると聞き及んではいましたが、先日、脇谷会長よりその数も千回を越えたと言う喜ばしいお知らせを頂いて、感慨深いものがありました。多くの艱難辛苦もあったことでしょう。ロザリオの祈りを通してマリア様は、きつと沢山のお恵みを、お与えくださっている信じます。千回達成に敬服し、心より「おめでとう!」を申し上げます。そして更なる目標に向かって精進されますように。

会と会員の皆様の上に、主イエスとマリア様の祝福とお恵みが豊かにありますようお願いしております。

## シスター蒲原のお話の会

婦人部 近藤加奈子

七月十一日(土)、聖母の騎士修道女会のシスター蒲原住江様をお招きして、マリア様への奉獻についてのお話を伺いました。「けがれなき聖母の騎士会」は聖マキシリアノ・マリア・コルベが1917年に創立した会で、現在約400万人の会員がいるそうです。

シスター蒲原は、長崎から「一人でも多くの方に、けがれなき聖母に自己を全く奉げて、み手の道具となって人々の回心と成聖のために祈り、働く」という聖母への奉獻について伝えたいと、小さいお体で笑顔いっぱい、マリア様への愛に満ちあふれて語っていただきました。

当日は、市川教会、本所教会からも参加してくださいました。祝別された〈ふしぎのメダイ〉、機関紙〈愛〉もたくさん用意下さりまして、参加者全員にお配りくださいました。

主イエス様の聖母、私達皆の母であるマリア様。大好きなマリア様。日頃、マリア様に取り次ぎのお願いが多いことを反省し、もっと賛美し、もっとロザリオを捧げ、み手の道具として働いていきましようと思えました。

シスター、ありがとうございました。



## バザーの集い

十月二十五日、バザーが行われました。いつもながら国際色豊かな出し物がたくさん出され、なごやかな一日となりました。今回のバザーの収益は、すべて教会補修費に当てられます。

スタッフの皆様、本当にご苦労さまでした。



## 委員長退任のご挨拶

洗礼者ヨハネ 横山省三

一期2年の心積りでお引き受けしましたが、正直に申しますと私にはつらく長い2年でした。就任早々の頃は、教会には有形無形の様々な仕事があることくらい、頭では想像がついてはいても、いざ着任してみると、さっぱり見えていなかったことに否応なく気付かされました。如何にこれまで、お客さん風情で教会に通ってきけたかと。

多くの励ましと、時には耳の痛い叱声を頂戴しながら、私なりに、本当に私なりにとしかいい表わしようがありませんが、今までやってきて、決して委員長という役廻りは楽な仕事ではないけれど、やらせてもらって良かったと、やっとこの頃思えるようになってきました。殊に人目につかないところで、どれほど多くの善意の業と心遣いが共同体の中で取り交わされているか、その実相の一端に触れることができただけでも、私のこれからの信仰生活の貴重な財産になると確信できたからです。

役員共々、任期中、陰に陽に温かくお支えくださいました信者のみなさんに、心からお礼を申し上げます、  
足らざるところは、  
どうかご寛容くださるよう一言を添えて、退任のご挨拶といたします。

